

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設とサービスを効率的に提供し、公共建築分野において先導的な役割を果たすため、官庁施設の整備と保全指導を行っています。

## 防災・減災

防災・減災対策のため、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等を推進しています。

### 具体的な対策

- 地震対策
- 天井耐震
- 電力確保等対策
- 津波対策

### 取組効果

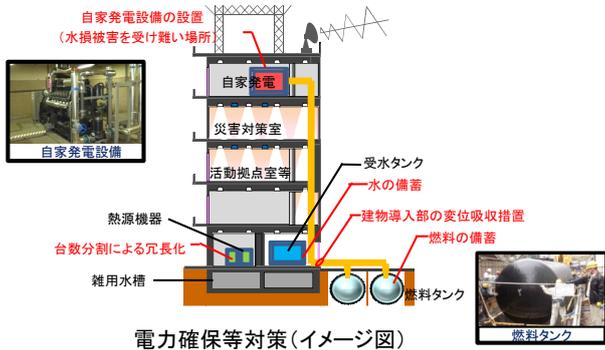
- 災害対策活動の円滑化
- 人命の安全確保
- 行政機能の早期回復



よこはま新港合同庁舎

### 具体的な事例

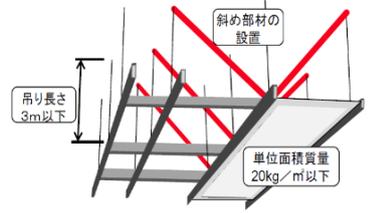
#### ●横浜地方合同庁舎(仮称)備等事業



電力確保等対策(イメージ図)



津波対策(イメージ図)



天井対策(イメージ図)

## 利便性向上・まちづくり

官庁施設は、都市の中核施設であり、地域の交流拠点となる場合もあることから、地方公共団体等と連携し、まちづくりに貢献するような官庁施設の整備を推進しています。

### 具体的な対策

- 合同庁舎の整備
- 地域との連携
- 歴史的建造物の保存・活用

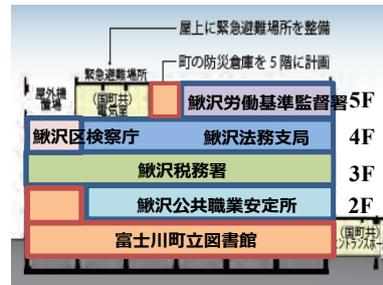
### 具体的な事例

#### ●富士川合同庁舎(富士川シビック地区)

国の5官署と町の図書館等を合築した合同庁舎シビックコア地区によって地域の特色や創意工夫を生かしつつ、都市拠点の形成、良好な市街地環境の形成の実現に寄与。豊かな街並みを形成するとともに、地域のランドマークとして存在し、地域の個性的な魅力を形成している。



富士川地方合同庁舎



### 取組効果

- 利便性の向上
- 施設利用の円滑化
- まちづくりへの寄与
- 良好な景観形成



横浜地方気象台

#### 富士川町シビックコア地区(8ha)



富士川シビックコア地区

※「シビックコア地区整備制度」は、地域の特色や創意工夫を生かした街づくりを支援する制度です。地域の人々の安全で豊かな生活を支える官公庁施設と民間建築物等が連携して、そこで暮らす人々の利便性の向上を図りつつ、関連する都市整備事業との整合を図った計画を策定することにより、魅力と賑わいのある都市の拠点地区の形成を推進しようとするものです。

※横浜市から有形文化財として指定された横浜地方気象台は、歴史と文化に配慮するため、耐震改修を行い、オリジナルに近いまま保存し、活用を図ることとし、新たに整備した増築棟についても旧館に調和したデザインとすることにより、山手地区の歴史的景観に調和するよう、整備しています。

## 機能維持

官庁施設は、建設後も長期にわたり利用者が安全で快適に過ごせるよう、適正な維持管理が必要です。計画的かつ効率的な施設の保全を行えるよう保全指導や情報提供を行っています。

### 具体的な対策

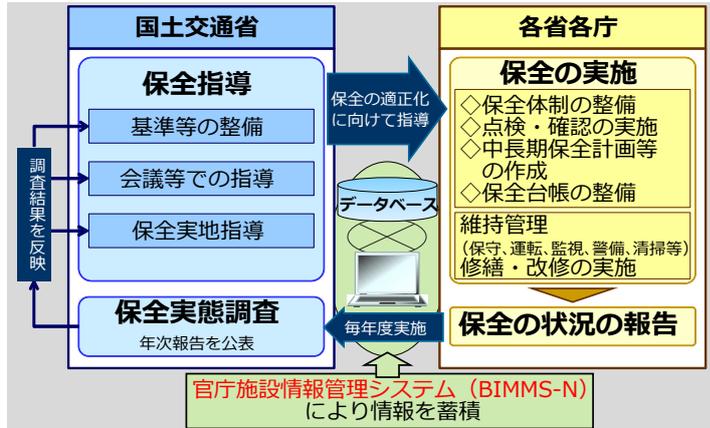
- 老朽化対策
- 施設管理者に対する保全指導

### 具体的な事例

- BIMMS-Nの導入、保全情報等の把握、分析
- 会議、講習会等での指導、パンフの配布

### 取組効果

- 機能・安全性の維持
- 長寿命化
- トータルコストの縮減と平準化



保全と保全計画のサイクル

## 環境対策

建築物は、その計画から建設、運用、廃棄にいたるまで、環境に負荷を与えています。環境負荷低減のため、建築物のライフサイクル全体を視野に入れた対策や整備等を行っています。

### 具体的な対策

- 官庁施設における木材利用の促進
- 環境負荷低減に配慮した整備

### 具体的な事例

- 低層建築物の原則木造化、内装等の木質化
- グリーン庁舎整備の推進

### 取組効果

- 木材利用量の拡大
- CO2排出量の削減
- 雨水利用の推進



栃木地方合同庁舎  
(上: エントランスホール、  
右: 見世蔵ギャラリー)

京橋税務署・都税事務所



太陽光パネル

※グリーン庁舎整備の推進  
官庁施設の整備にあたっては、地球温暖化対策を推進するとともに循環型社会の形成、水循環系の構築(雨水の利用推進に関する法律)良好な生活環境等の形成を図るため、グリーン化技術を活用したグリーン庁舎の整備を推進しています。

## 公共建築の先導的役割

新たな技術基準類や調達・整備手法(免震改修、PFI事業等)が、公共発注者や民間企業において広く活用されることを先導し、公共建築等の質的・技術的水準の向上に努めています。

### 具体的な対策

- 先導的な取り組み
- 働き方改革への取り組み
- 地方公共団体等への支援

### 具体的な事例

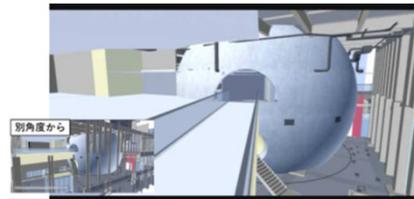
- PFI手法の導入
- BIMの導入
- 生産性向上技術の導入
- 週休2日促進
- 営繕主管課長会議※1
- 公共建築相談窓口※2

### 取組効果

- 建築分野の質的・技術的水準の向上



気象庁庁舎/門庁舎・港区立教育センター整備等事業



※BIM (Building Information Modeling) とは、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、室等の名称や仕上げ、材料・部材の仕様・性能、コスト、情報等、建物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することです。建築生産や維持管理の効率化が期待されます。

※PFI (Private Finance Initiative) とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法です。民間事業者のノウハウを活用すること、官民が適切に役割を分担し、効率的に事業全体のリスク管理が行われること等により、より効率的かつ効果的に公共サービスが提供されることが期待されます。

※1 営繕事業に関する様々な取り組みについて、都・県・政令市出席の当会議にて情報提供  
※2 入札手続き、請負契約における設計変更、円滑な施工確保対策の他、各種相談に対応

# 涸沼水鳥・湿地センター（観察施設）

## 事業目的

- ①野鳥観察や保全活動等の拠点として利用しやすい施設整備
- ②野鳥等の生息環境や景観に配慮した施設整備
- ③地域活性化へ寄与する施設整備



## 建物概要

- 【所在地】茨城県銚田市箕輪字鎌尻1754番地
- 【建築面積】154.86㎡
- 【延べ面積】330.55㎡
- 【構造・規模】木造3階建
- 【設計】株式会社プレック研究所
- 【監理】株式会社友水設計
- 【施工】株式会社二輝建設

涸沼は様々な生物の生息地、多くの渡り鳥の飛来地となっており、平成27年にラムサール条約湿地に登録されました。「涸沼水鳥・湿地センター（観察施設）」は、その生物多様性豊かな湿地の保全及び賢明な利用を推進していくための拠点の1つとして整備した事業です。

## 事例紹介

利便性向上・まちづくり：合同庁舎の整備、地域との連携  
環境対策：木材利用の促進、環境負荷低減に配慮した整備

# 栃木地方合同庁舎



建物外観



建物内観（エントランスホール）

## 建物概要

【所在地】 栃木県栃木市河合町1314-1

【建築面積】 1,093.67㎡

【延べ面積】 4,080.57㎡

【構造・規模】 鉄筋コンクリート造5階建

【設計】 株式会社東畑建築事務所

【監理】 株式会社本澤建築設計事務所

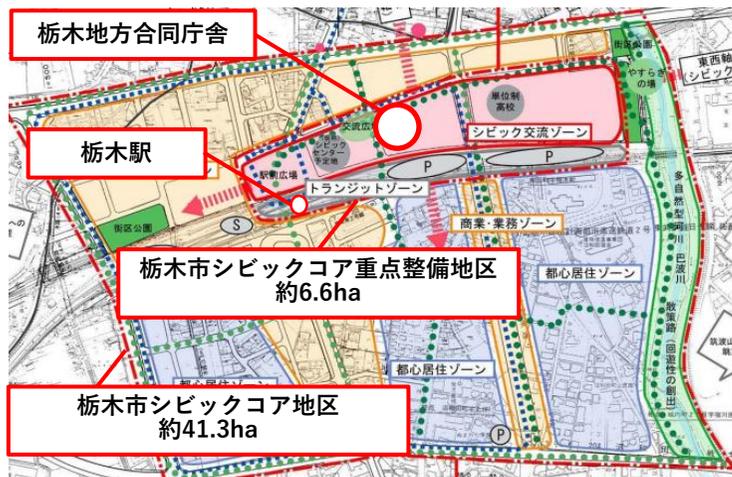
【施工】 青木あすなろ建設株式会社（建築）

株式会社コアテック（電気設備）

株式会社精研（機械設備）

日本オーチス・エレベーター株式会社

（EV設備）



太陽光パネル

設備室	5F
栃木税務署・業務センター栃木分室	4F
栃木税務署	3F
共用会議室	2F
エントランスホール 見世蔵ギャラリー	1F



見世蔵ギャラリー